



社会福祉法人 東和福祉会 三愛

入所者そして職員 みんなの幸せを目指して



清掃が行き届いた広く明るい館内。ストレスチェックの集計結果や季節の行事予定などが誰にでも分かりやすく掲示されています。

腰痛予防が 介護事業の鍵を握る

介護の仕事は日頃から腰に大きな負担がかかり、腰痛は職業病ともいえます。施設長の遠峰さんは、7年前に同施設に着任した当初、若い職員でさえも腰痛が原因で長期間休まざるを得ない状況に驚き、すぐに腰痛予防対策に着手。全職員に腰痛予防ベルトを支給し、仕事中は必ず装着するように促しました。各自の体形に合うような様々なサイズを取り揃え、劣化した場合は新しいものを支給しています。

同施設では腰痛予防として、腰に負担がかかりにくい姿勢を学ぶ研修会を実施してはいるものの、常日頃心がけるのは至難の業。腰痛予防ベルトを着けることは、腰の痛みが緩和されるだけでなく、正しい姿勢を思い出させる効果もあります。取組の結果、各自の腰痛予防への意識が高まり、腰痛が原因となる休みは格段に減りました。

オン・オフの上手な切替えて ストレスを解消

介護事業のもうひとつの課題は、ストレスによるメンタル不調です。入

所者の体を気づかいないがらの重労働や夜間勤務で職員のストレスは相当なもの。そのため、休憩時間はくつろいで休めるように、休憩室を畳敷きとし横になれる環境を整えています。

また、公休を月8日から10日、年間120日にし、同業種の平均よりも増やしました。また、公休に加え、さらに月に1日は有給を取得させることで、疲労回復とともに心にゆとりを持たせた職員が増えてきています。

その他にも、ストレスチェックにおける施設内の集計結果を掲示板で共有するとともに、結果に対する改善策を安全衛生委員会で話し合うなど、職員のストレス軽減に努めています。



食堂に設置したフィットネス機器やマッサージ機は休憩時間に職員も利用可能。

入所者の幸せは職員が、
職員の幸せは
私が守ります！



施設長
遠峰 正徳さん

健康な職場づくりの取組

- 腰痛予防ベルトを全職員に支給
- 公休日の増加と有給休暇取得の推進
- 設備機器で運動&リラクゼーション



腰痛予防ベルト

取組を始めた契機

職業病ともいえる腰痛は、全職員にとって悩みの種でした。入所者に最良のケアを提供するために、まずは我々が健康で元気でなければと、2014年から取組をスタートしました。

職員の声に
じっくりと耳を傾け
気持ちに寄り添えるよう
努めています

部長
田中 律子さん



入所者と職員の健康を守る様々な研修を実施。



社会福祉法人 東和福祉会 三愛

介護老人福祉施設／短期入所生活介護／地域密着型通所介護／居宅介護支援



設立 2012年8月
理事長 芝田 康雄
従業員数 65人

山武郡横芝光町栗山2700 TEL. 0479-82-3433
http://www.sanai-touwa.com